

コンピュータチェック事例コード

48SJ991206413

コンピュータチェック内容

初診料（同一日複数科受診時の2科目の場合）の算定があり、当該算定日を診療開始日としている傷病名と、当該算定日より前の日を診療開始日としている傷病名が、同一の I C D 1 0 中間分類である場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

現に診療継続中の患者につき、新たに発生した他の傷病で初診を行った場合には、当該新たに発生した傷病について初診料は算定できない。ただし、同一日に他の傷病（1つ目の診療科で診療を受けた疾病又は診療継続中の疾病と同一の疾病又は互いに関連のある疾病以外の疾病のことをいう。以下同じ。）について、新たに別の診療科（医療法上の標榜診療科のことをいう。以下同じ。）を初診として受診した場合（1つ目の診療科の保険医と同一の保険医から診察を受けた場合を除く。以下、同じ。）は、現に診療継続中の診療科を除く診療科1つに限り算定できるとされています。

グラフの見方

- 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)
コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数
- 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)
コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 81.31%
- 検証対象都道府県 42

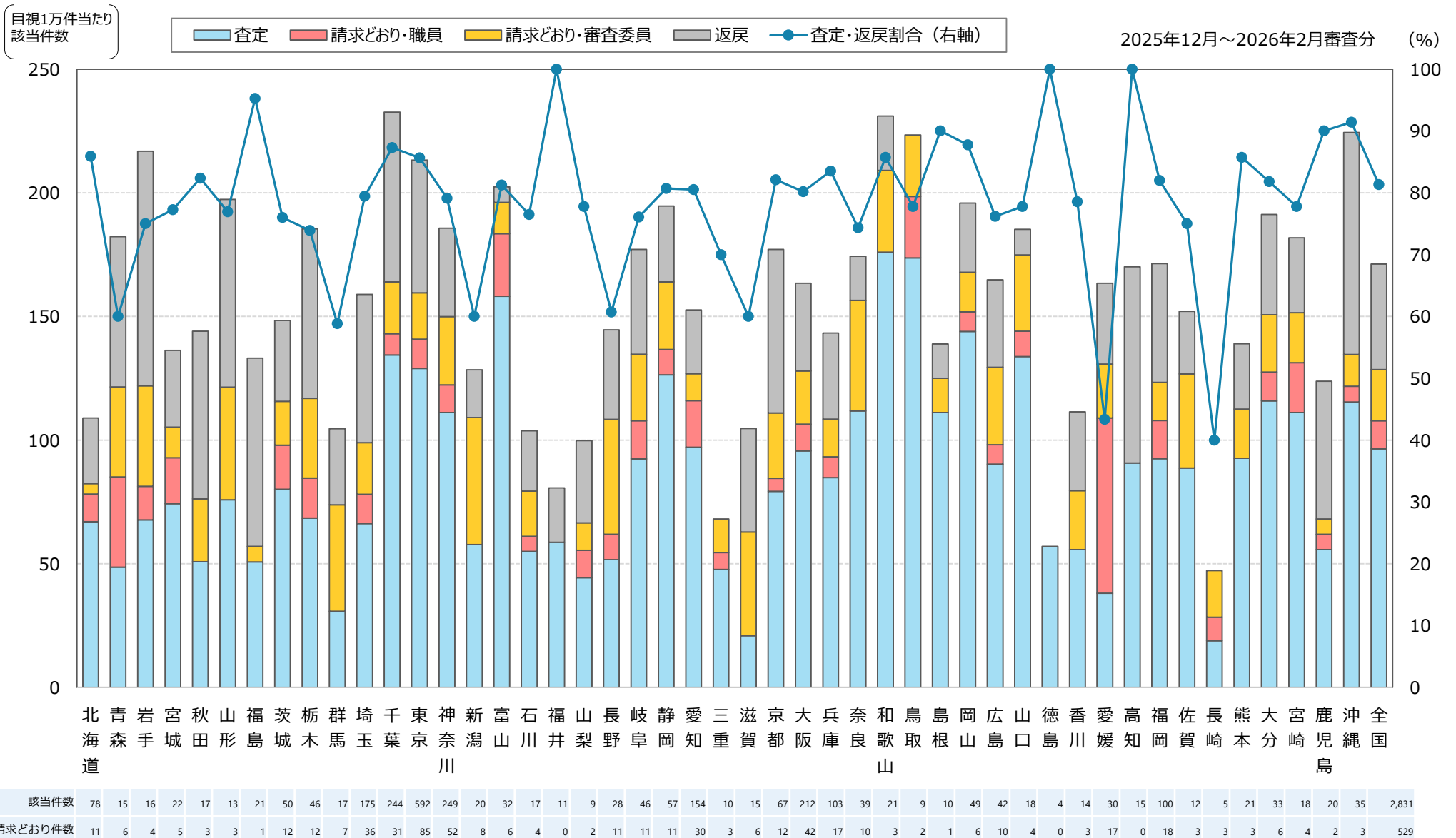
検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	長崎、愛媛、群馬、青森、新潟、滋賀、長野、三重、栃木、奈良、岩手、佐賀、茨城、岐阜、広島、石川	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	愛媛、青森、富山、鳥取、宮崎、愛知、宮城、茨城、栃木、福岡、岐阜、岩手、東京、埼玉、大分、神奈川	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	新潟、長野、山形、奈良、群馬、滋賀、岩手、佐賀、青森、和歌山、栃木、広島、山口、神奈川、静岡、岐阜	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	当該コンピュータチェックの内容に該当	2,831件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	2,302件
検証を必要とする審査	請求どおり	529件

コンピュータチェック対象:初診料（同一日複数科受診時の2科目の場合）

医科



【該当件数】 当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数